



2 お薬の正しい服用時間

食前 食事の約30分前(空腹時)に服用

食後 食事のすぐ後から30分以内に服用

食間 食事の2時間後(空腹時)に服用

食直前 食事のすぐ前に服用

食直後 食事のすぐ後に服用

就寝前 寝る30分位前に服用

頓服 症状に合わせて一時的に服用(医師・歯科医師・薬剤師の指示のもと)

起床時 起きてすぐ服用

時間毎 指示された間隔で服用

お薬を飲み忘れたら?!

- 飲み忘れに気づいたら、早めに服用してください。
- 1回飲み忘れたからと言って、次回に2回分服用しないでください。
- 飲み忘れたときの対処がわからないときは、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師にご連絡ください。

3 お薬の保管方法

一定の場所に保管しましょう。

他の容器への入れ替えはやめましょう。

幼児の手の届かない所に置きましょう。

直射日光の当たらない所に置きましょう。

熱くなる所(ストーブのそば等)の近くに置かないようにしましょう。

冷所保存のお薬は他の食品と区別して冷蔵庫内に保管しましょう。

古いお薬は思い切って捨てましょう。

4 お薬の副作用

副作用とは?



お薬を飲んだときに、本来、目的としていない作用が現れることがあります。これを「副作用」といいます。例えば、「風邪薬を飲んだら眠くなった」という場合には、眠気が副作用となりますが、「ぐっすり眠れる」という人であれば、副作用はとくに問題にはなりません。すなわち「副作用」がいつでも悪者とは限らないわけです。

とくに副作用に注意しなければならない人

- 特異体質(アレルギーなど)のある人
- 過去にひどい副作用を経験している人
- 肝臓など、お薬を代謝する臓器に疾患のある人
- ほかにもお薬をのんでいる人
- タバコやお酒の習慣がある人
- 妊娠している女性(胎児への影響の問題)
- 仕事などで特別な環境にある人(例:高所での作業が多い人など)

5 「医薬品副作用被害救済制度」をご存じですか?

- この制度は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく公的制度です。
- 医薬品を正しく使用したにもかかわらず、入院を必要とするなどの重篤な副作用が生じた場合には、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金などの救済給付が行われます。
- 救済制度の解説書や救済給付の請求に必要な請求書などは、医薬品医療機器総合機構に用意しており、相談窓口に応じれば無料で入手できます。

独立行政法人医薬品医療機器総合機構健康被害救済部
救済制度相談窓口 TEL.0120-149-931(フリーダイヤル)
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル